

夜

賭を かけて

青春は
イノチガケ。

废墟から鉄屑を盗み出せ！

スクラップ

極限状況を生き抜く、痛快サバイバル活劇

アクション

山本太郎 ユー・ヒョンギョン ◎ 樹木希林 李麗仙 清川虹子 山田純大 仁科貴 六平直政 大久保鷹 不破万作 山村美智 申相祐 ◎ 唐十郎 奥田瑛二 風吹ジュン
金守珍初監督作品 原作・栗石日 漫画を基に「NHK出典/小説家文庫」脚本・丸山昇 音楽 林保 プロデューサー 郭充良 製作「夜を賭けて」製作委員会アートディレクター ショウ
オリジナルサウンドトラック・カルチュア・パブリッシング 配給・シンセキノ

「日本にも祖国にも見放された俺たちに未来があるっちゆうんか!」「あるっ!!!!」

夜を賭けて

Original Story by YAN Sogiru Directed by KIM Sujin

YAMAMOTO Taro RYOO Hyoungyoung KIKI Kirin LEE Reisen KIYOKAWA Nijiko YAMADA Jundai NISHINA Takashi MUSAKA Naomasa OKUBO Take FUWA Mansaku YAMAMURA Michi SHIN Sangwoo KARA Juro OKUDA Eiji FUBUKI Jun

「原作は凄く小説だけど本当に映画化できるの?」
「総製作費に5億円かけて、韓国に巨大なオープンセット、集落から鉄道川まで作って、40年以上昔の風景を完全に再現してるらしい」「俳優たちは4ヶ月間、セットの中で合宿生活。撮影は無茶苦茶、大変だったらしい。製作中から業界関係者やメディアで様々な憶測をよんだ話題作。遂に完成。映画作りの常識を覆し、他のどんな作品にも似ていない旋回りの熱血作が、遂にスクリーンにその姿を現す!!」

廃墟から鉄屑を盗み出せ!
極限状況を生き抜き、痛快サバイバル活劇。

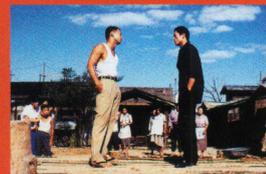
1958年、戦後の焼跡が残る大阪、立入禁止の兵器工場跡に忍び込み、鉄屑を運び出して売り払うタフな連中が実在した。その名は「アパッチ」。川沿いに集落を構えて貧しい生活を営んでいた彼らは、ある日、対岸の広大な廃墟に「お宝」が埋まっていることを知る。明日の生活のために船で運河を渡り、警察に追われながら真夜中に鉄を掘り起こすアパッチでユモラスな日々。だが次第に取締りは厳しくなり、アパッチは警官隊に最後の闘いを挑むのだが...!?

主演・山本太郎が熱い熱い! 喧嘩、友情、家族、切ない恋... 短くも鮮烈な青春群像。

今もともエネルギッシュな映画俳優、山本太郎「主人公・金義夫を演じるのは僕しかない!」と惚れこむだけあって、一直線であつとお茶目なキャラを堂々と演じ切る。「バトルロワイアル」の中学生、「光の雨」の連合赤軍を超えるハイテンションなバウアーに思わず釘付けた「運命の恋人」役には韓国の新人女優「ヒンギョン」、そのヒアな佇まいが鮮やかな印象を残す。ヒロインを撃おうとする悪役・山田純大のクールな存在感も圧倒的。さらに樹木希林、風吹ジュン、唐十郎、奥田瑛二豪華競演陣が華を添え、集落に生きる人間たちのリアルな息づかいが聞こえてくるようだ。

異分野のコラレーションが産み出した、他作品では得られない興奮。

原作は梁石日（シム・ソクニル）の傑作長編小説。直木賞候補にもなったスケールの大きな題材に挑んだのは、劇団・新宿梁山治の座長を務める金守珍（キム・ソンジン）、韓国でのオープンセット撮影を敢行したこともあり、演劇で培った破天荒なまでのエネルギーをフィルムに充滿させることに成功している。がむしゃらに生きる人間たちの圧倒的なパワーを封じ込めた本作品は、不況が慢性化した今の日本社会において「サバイバル生き抜く力」の本質を見つめ直した、痛快な人間活劇だ。



山本太郎
ユージョンギョン
樹木希林
李麗仙
清川虹子
山田純大
仁科直純
六平直政
大久保貴政
不破万作
山村美穂
申相祐
唐十郎
奥田瑛二

金守珍初監督作品 原作:梁石日「夜を賭けて」(NHK出版/小説文庫) 脚本:丸山昇一
音楽:朴保 プロデューサー:郭克良 製作:「夜を賭けて」製作委員会、アートン、Sidus
制作協力:クルージン オリジナルサウンドトラック:カルチュア・パブリシャーズ
配給:シネカノンwww.cqn.co.jp 宣伝:JMP
2002年/日韓合作/ウィスタ1:1.85/カラー/ドルビーデジタル/133分
www.yoruwo-kakete.com



12月21日(土)より新春第1弾 “熱血青春140%” ロードショー!

★特別鑑賞券好評発売中!一般1500円★
劇場窓口でお買い求めの方にポストカード(数量限定/非売品)をプレゼント!

版急十三駅西口より徒歩3分 サカエマチ商店街 サンボードシティ6F
第七藝術劇場
06(6302)2073

地下鉄「動物園前駅」5番出口/フェスティバルゲート7F
動物園前シネフェスタ4
06(6647)7188